

吉見町の歴史と文化財の散策

吉見百穴

穴、あな、アナ

表示板に県立比企丘陵自然公園とある(前方に吉見百穴の表示。左手の建物は吉見町埋蔵文化財センター)



右手の建物が吉見町埋蔵文化財センター











吉見百穴







穴の並び方 棺座の工夫 玄室の形 横穴の構造

斜面に並ぶ穴は 西側から 東側へと次第に
その並び方が整っています。特に東側にある穴
は平行線上に正しく配置されて整然とした感
じがあります。穴の掘り方の技術や考え方が
進んでいた証拠と考えられます。

上位の穴や下の穴では下から次第に穴が大きく
なりまた下の方より上の方が穴と穴の間隔が
広くてゆとりが出て来ています。中位の穴は二三
の大きく立派な穴が取りまいてその周辺に小
さな穴がいくつかが掘られ一つの小グループを
つくっていることがわかります。

この穴の並び方やまた上中下に位置の違いは
穴が掘られた年代の違いを示すものかまた葬
られた人の身分や富とつながりあるのか考え
ながら観察しましょう。





天然記念物

ひかりごけ

二三の横穴の中には、こげが自生しています。このこげは、太陽の光に映えて黄金色に輝く「光こげ」と呼ばれ、ほの暗い洞穴内や森林内の湿地に生える珍しい植物で、昭和三年天然記念物に指定されました。このこげは、ふつう原系体とともに生えて淡緑色が淡色かになっています。この原系体はレンズ状の細胞がつながってできているため光線を屈折反射し黄金色にひかります。

大正五年
岸 勝弥氏 発見



ひかりごけ



吉見百穴ヒカリゴケ発生地

横穴の構造

横穴は玄室・羨道・前庭の三つの部分からなっています。

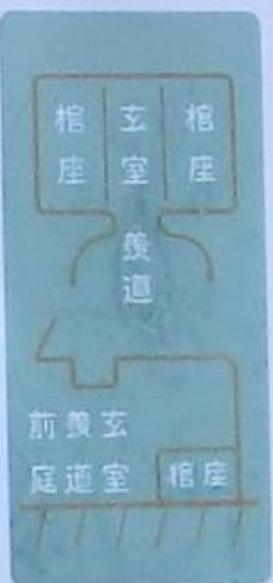
玄室は死者を埋葬した所で、こゝは普通遺体を安置した棺座がつくられています。

羨道は前庭から玄室に通ずる通路であり、前庭は羨道の外につくられた広場ですが、こゝではおそらく死者を葬る祭が行われたのでしよう。

遺体を玄室内に安置した後、横穴は羨道の外側に封鎖石（扉石）を立てかけて閉塞しました。

封鎖石には多くは緑泥片岩の一枚岩を使っています。がまれに凝灰岩の切石を積みかさねた例もあり一定していません。

封鎖石は粘土を用いて密封され開けることは出来なかつたが、追葬の際には粘土を除いて取りはずされた。







玄室の形

玄室は横穴の中でも最も重要な部分です。こゝにつくられた二段高いベットのような床は遺体を安置する所で棺座と呼ばれています。棺座は片側正面につただけのもの、西側・片側と正面等複数になっているもの、或は無いものと「百穴」の玄室には七種類の配置があります。横穴が個人の墓ではなく家族墓であつてしばしば追葬が行われたからでしょう。棺座の大きさは一人の棺をのせるのではなく二人分またはもつとのせるためつくられたものです。

玄室の形はさまざまです。最も多い形は方形ですが正方形に近いもの・長方形・羽子板形・三味線胴形等いろいろあります。丸い形もありますが吉見の横穴郡の中では異例です。

玄室の形

 第一形式	 第二形式
 第三形式	 第四形式
 第五形式	 第六形式
 第七形式	 第八形式





棺座の工夫

玄室の棺座から中央の通路にかけてまた通路から羨道・前庭にかけて溝(みぞ)が掘つてある例がいくつかみられます。

ほとんどの横穴が玄室から前庭にかけて傾斜をつけて掘つてあります。これらは排水のための工夫でしょう。

玄室に安置された遺体がいつまでも腐らないで、とこしえに現世の生活が続けられるように願った古墳時代の人々の死者への祈りがこめられているのであろうか。







横穴を掘った工具

各々の横穴に入つて、玄室の天井や側壁の片隅を丹念に調べてみると鋭い削り跡や、幅広な割り跡を容易に探しだすことが出来ます。これが横穴を掘った工具の跡です。鋭い削り跡は多分のみ類でしょう。幅広な削り跡は手本でしょうが、中には釘のように細い工具を用いて整形した痕がみうけられます。

横穴が掘られた場所は疑灰岩質の比較的軟い岩山です。このように粗末な工具では一つの横穴を掘るのに、大変な労力が必要だったことでしょう。おそらく数人の者がこつこつ掘り続けて完成するまでに十数日を要したのではないでしょうが。

横穴を掘った人々

横穴はどんな人々が掘ったのだろうか。岩山の上から西の方を眺めると市野川の広い沖積地をへだてた対岸に平坦な柏崎の台地が長く続いています。この台地の上から最近古墳時代後期の住居跡が発見されました。また西側にひらけた、自然堤防からも六・七世紀の住居跡が沢山みつかっています。いずれも「吉見百穴」を造った人々と関係のある住居跡と推定されます。おそらく対岸の台地上や、市野川の自然堤防の上には古墳時代の後期には大小いくつかの村がつくられ活発な人々の生活が営まれていたに違いありません。

この貴重な遺跡を

みんなで大切に

しましょう。

吉見町・吉見町教育委員会

現世と死後の世界

古墳時代の人々は人が死ぬことは決してなく
なってしまうことなどは考えていませんでした
現世を旅立って遠いところへゆくのだとして
そこで今までのような生活を続けるのだと考
えています。この考え方が横穴の構造に表れ
て、玄室つまり現世から羨道せんどうを通って、あの世
へ行った。死者が現世と同じような生活をし
ているところとしての意味をもっているのです。
したがって玄室の天井は屋根の形を模してつ
くられています。

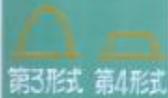
また「なまがら」を葬るとき、その人が生前に使
っていたものなど死体にそえて埋葬した副葬
品が多く発見されています。

副葬品としては金環・勾玉まがたま・管玉くだたま・埴輪はにの（飾馬）
土器などが多く飾馬はあの世で遠い旅をした
り乗りまわすのに土器はあの世での日常生活
の必要な食器として考えられたからでしょう。

横穴天井の形



第1形式 第2形式



第3形式 第4形式



第5形式 第6形式

右手奥は地下軍需工場跡



地下軍需工場跡

構内の巨大な洞窟は、右の方五〇〇米から、左の方八〇〇米に亘り、山腹に掘られた三十数か所の一部であります。

第二次世界大戦の末期昭和二十年初頭前後から八月に至る間、地下軍需工場用に掘られました。

この戦争の末期に各地の軍事施設は、アメリカ軍のB二九爆撃機により大きな損害を受けました。

当時わが国で最大といわれた中島飛行機株式会社でも、その大宮工場（現在の富士重工）エンジン製造部門の全施設をこの地下に移転することになりました。

掘削は全国各地から集められた三〇〇〇人から三五〇〇人といわれた朝鮮人労働者により、昼夜を通じた突貫工事として進められました。ダイナマイトを使用した人海戦術でした。

トンネルは、幅四〇米、高さ二二米の馬蹄形で、現在公開されているのは、十分の一の広さにも及びません。

七月頃には完成した場所に工作機械が搬入され、大宮工場から転居した従業員や勤労働員学徒により、エンジンの部品が製造されました。

だが、本格的な生産活動に移る前に終戦となりました。掘削工事に従事した最後の朝鮮人と言われた人の帰国に際し関係者により催された懇談会の席上、日本と朝鮮との平和を希望して植えられたムクゲの苗木は、現在も、この地で生長を続けています。

吉見町

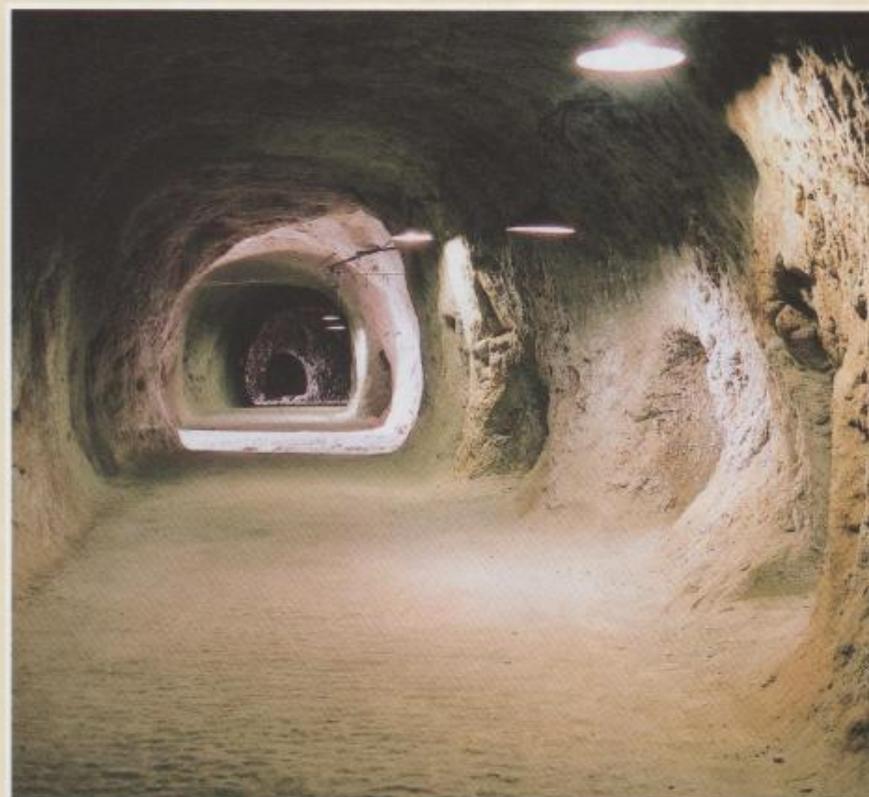
吉見百穴 地下軍需工場跡 について

構内の巨大の洞窟は、第2次世界大戦の末期、昭和20年初頭から8月に至る間地下軍需工場用に掘られたもので、左右約500メートルに亘り山腹に掘られた一部であります。

この戦争の末期に日本各地の軍需施設は、アメリカ軍のB29爆撃機により大きな損害をうけました。この危機に当時わが国で最大といわれた中島飛行機株式会社(現在の富士重工)でもその大宮工場エンジン製造部門の全施設をこの地下に移転することになりました。

掘削は、全国各地から集められた3,000人から3,500人といわれた朝鮮人労働者により昼夜を通した突貫工事として進められ、ダイナマイトを使用した人海戦術でした。トンネルは、幅4メートル、高さ2.2メートルの馬蹄形で、現在公開されているのは、10分の1の広さにも及びません。

同年7月頃には、完成した場所に工作機械が搬入され大宮工場から移転した従業員や勤労労働員学徒により、エンジンの部品が製造されましたが、本格的な生産活動に移る前に終戦となりました。掘削工事に従事した朝鮮人労働者の最後の一人の帰国に際し、関係者により催された懇談会の席上、日本と朝鮮と平和を希望して植えられたムクゲの苗は、この地で生長を続けています。

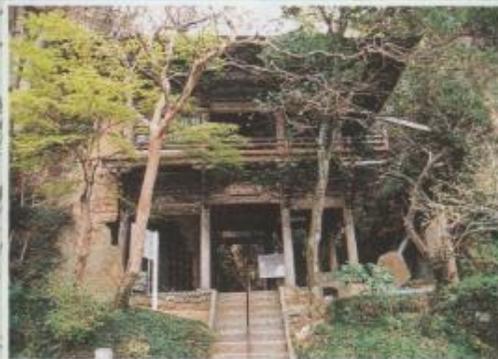


工場跡地

吉見百穴周辺 マップ Map



大沼



松山城跡

交通案内

バス停吉見
百穴入口まで

電車
利用

- JR高崎線「鴻巣駅」東口下車、バスにて「東松山駅行」約25分。
- 東武東上線「東松山駅」東口下車、バスにて「鴻巣免許センター行」約5分。

自動車
利用

- 関越自動車道東松山ICから、鴻巣方面へ約5km。
- 東京方面から国道17号より鴻巣左折、約10km。
- 群馬・新潟方面から国道17号より熊谷右折、約17km。(国道407号線上り。)

お問い合わせ先

吉見百穴管理事務所

埼玉県比企郡吉見町大字北吉見324
〒355-0155 TEL (0493) 54-4541